



【はじめに】

本校は、霧の深い朝は雲海の上に優雅に立ち、晴れた日には山江村だけではなく人吉市も臨むことができる草鹿倉台地にある。近くには山田川が流れ、田畑や栗園、山々に囲まれ自然豊かなところでもある。

また、村内の小中学校でICTを取り入れた教育活動を行っている。さらに、平成27～29年度の3年間、エネルギー教育のモデル校に指定され、エネルギー教育と環境教育の両面からも取組を行っている。全校児童は216名の中規模校である。

児童の自主的な活動を推進し、「気づき、考え、実行する」という行動指標のもと、生きる力の育成に取り組んでいる。

1 宣言

昨年度の反省より【○…成果 ▲…課題】

- 環境 ISO の項目を低学年でも実践できる項目に見直したことで、環境に対する個人の意識が高まった。
- 縦割り班掃除では、上級生の姿を見て低学年は掃除する姿勢等を学ぶことができた。その後のクラスでの掃除でも、無言掃除等が徹底してきている。
- ▲ 環境 ISO の決定が少し遅かったため、来年度の見直しは今年度末に行い、新年度はスムーズにスタートできるよう計画的に進めていく。

4月の委員会で話し合って決めました。

数値目標

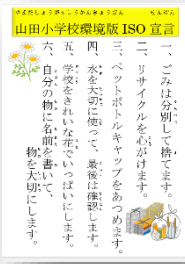
山田小学校版環境 ISO 宣言

- 児童**
- ① ごみを見つけたら拾います。
 - ② リサイクル紙を集めます。
 - ③ ペットボトルキャップを集めます。
 - ④ 水を大切にします。
 - ⑤ 学校をきれいな花でいっぱいにします。
 - ⑥ ものを大切にします。

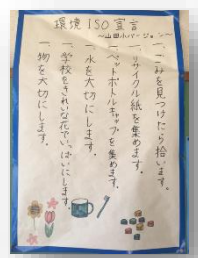
- 職員**
- ① 校内の美化作業に努めます。
 - ② 学習中の紙ごみや職員室での紙ごみは資源ごみとして回収し、燃えるごみの量を減らします。
 - ③ デジタルの活用でペーパーレスを推進し、裏紙の使用で紙の消費を減らします。
 - ④ 電気やエアコンをこまめに消し、設定温度を守り、節電します。

- ① 一日3つ以上拾う。
- ② 毎月の燃えるごみ袋を10袋以内にする。
- ③ 年間収集100kg
- ④ 昨年度実績より2%減
- ⑤ 月1回以上栽培委員の活動に参加し、学級園に常時2種類以上の花を植える。
- ⑥ 持ち物記名率100%

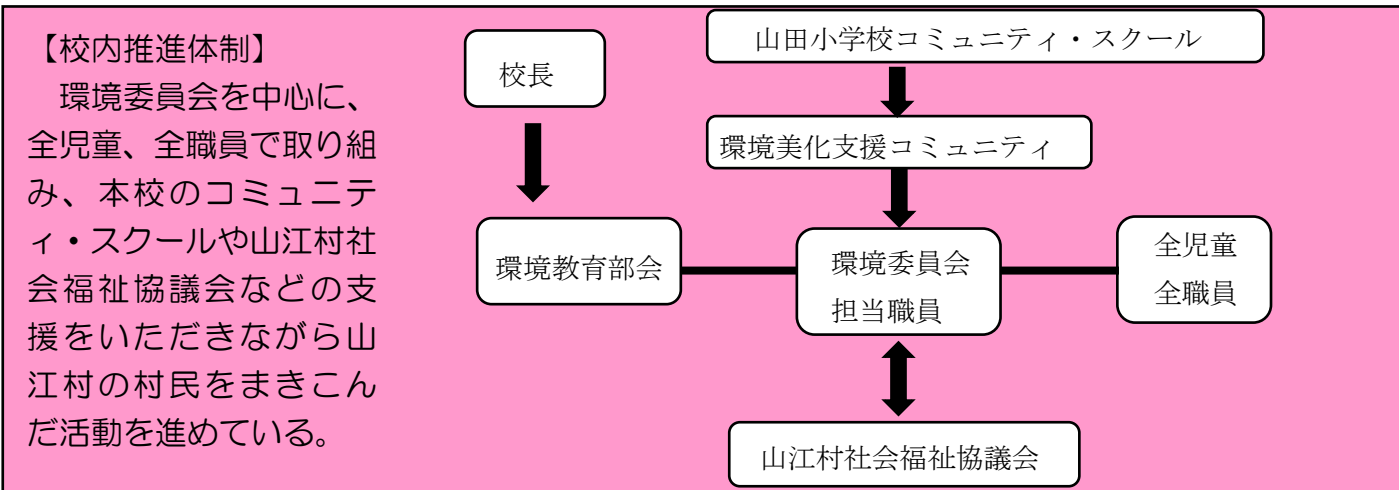
- ②③ 紙消費量昨年度比2%減
- ④ 電気代昨年度比2%減



各クラスと環境美化委員会の掲示板に宣言項目を掲示



2 行動



具体的な取組

①ごみ減量・分別・清掃活動の取組

○ 分別BOX
各階に資源になる紙分別BOXを設置し燃えるごみの量を減らす。



きちんと分別ができていますかチェックをします。

○ 環境美化委員会によるごみ収集



○ 朝の清掃活動



○ 給食後のごみ拾い
食べた後は、きれいなランチルームに元通り！



使った後は、きれいな場所に元通り！進んでごみを拾います！

○ 縦割り班掃除



高学年をお手本に、無言掃除の徹底。掃除の仕方を教えてもらって、掃除名人に！

いつもきれいな教室

②リサイクル紙

○ 各階にリサイクル紙BOXを設置



両面印刷で使わなくなった用紙は、リサイクルBOXへ。

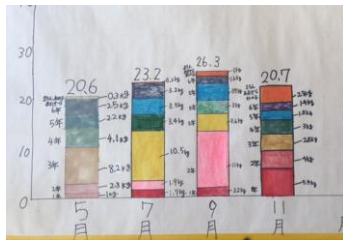
○ 印刷室には、裏紙使用の箱を設置



職員へのお知らせ等で印刷する際には、裏紙の使用が定着。画用紙の切れ端なども再利用しています。

③ペットボトルキャップ集めの取組

- 二か月に一回、一週間を集める期間として設定



④節水の取組

- 毎日の歯磨きや水飲みには、コップを使います。
- 手を洗う時は、水を出しすぎません。
- 掃除の雑巾洗いは、バケツ半分の水を使います。



⑤花栽培の取組

- 委員会を中心に、土づくりや花の水かけを全児童で取り組んでいます。

【春植え】

サルビア、ケイトウ、
マリーゴールド、
ニチニチソウ、
メランポジウム、
ヒマワリ



【秋植え】

ビオラ、パンジー
ノースポール、菜の花、
ナデシコ、キンセンカ、
リビングストーンデージー

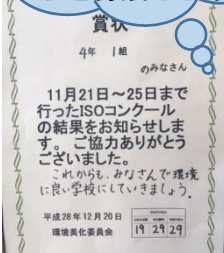
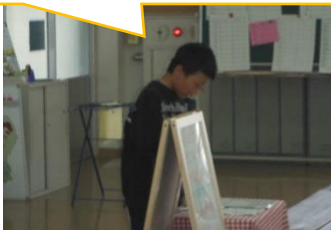
山田小ハウステンボス

⑥ものを大切にする取組

- 自分の持ち物に名前を書いているかなどを含む環境 ISOコンクールを実施

ランチルームで、ごみの分別・水の節約・持ち物への名前の記入の3点についてISOコンクールを行うことを連絡しました。

ごみの分別が、まだまだなんだな。しっかり分別しよう！



児童が作成した環境 ISOコンクールの賞状

3学期の委員会で、もう一度、環境 ISOコンクールを行うことを決定した。2学期よりもごみの分別・水の節約・持ち物への名前の記入の数値が上がるように呼びかけました。

⑦家庭や地域への取組や情報発信

- 学校便りや学級通信で活動啓発
- 環境標語の親子制作
- 年3回行われる親子美化作業
- 老人健康福祉センター前の道路清掃
- みどりの少年団による植樹活動
- 地域のゴミを減らす「ごみゼロ作戦」
- 地域のケーブルテレビによる活動放送



業を公断したり、視察に来られたりしたのは、これで11回目になりました。

朝ボラ頑張ってます！

山田小伝統の「朝ボラ」。登校後、自主的に校舎内外の清掃活動や対歩運動を行っています。今、グラウンドに生きている草をとっています。自分たちの手で自分たちの学校をきれいにする素晴らしい姿を朝から見ることができ、すがすがしい気分になりました。



活動の見直しと対策

☆委員会活動☆

活動の良かったところや改善点を話し合う。



☆話し合いの結果☆

- ① ゴミ捨での分別ができていない。
- ② 持ち物の名前記入が徹底していない。



☆対策☆

- ① 委員会でクラスを訪問し、ゴミ出しのルールをお願いする紙を貼らせてもらう。
- ② 環境 ISO コンクールを実施し、持ち物の名前記入を呼びかける。

3 活動の記録

○ 環境委員会の掲示版



環境 ISO 宣言の各項目の取組状況を環境委員会の掲示版に提示しています。

結果は、給食時に放送で呼びかけを行い、意識付けを行っています。

1年間の活動報告を、2月の全校集会で行う予定です。

4 活動の結果

○ごみの減量

捨てたごみ袋の数は、平均10袋以内に抑えることができたが、月によって、たくさんのごみが出ている時期もある。

捨てた	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	平均	合計
ごみ袋の数	6	13	5	9	9	12	11	9	65

○エコキャップ集め

エコキャ	5月	7月	9月	11月	合計
ップ集め	20.6kg	23.2kg	26.3kg	20.7kg	90.8kg

家庭の状況や季節によって、個人差が生じる。ごみに出さず、ボランティア精神での取組を推奨したい。

数値目標に対する本年度の結果（経過）

	（目標値）	（昨年度比較）
○電気使用量昨年度比・・・	目標2%減	実績1%減
○水道使用量昨年度比・・・	目標2%減	実績1%増
○紙消費量昨年度比・・・	目標2%減	実績1.3%減

水道使用量と紙使用量については、児童と職員の意識の向上はあるものの、水漏れ等により、昨年度より使用量は増えてしまった。今後の更なる啓発と取組の強化が必要である。

5 成果と課題

【成果】

- 環境美化委員会の子どもたちの自主的な活動を促すために、活動や記録の仕方を工夫させた。環境に優しい学校づくりを行うために、どんな活動をしたらよいかと自主的に考えるようになった。
- 資源として出せる紙ごみの種類や分別方法を職員と児童に啓発し、ごみの減量の意識化を図ったおかげで、燃えるごみの分量が減った。
- エコキャップ集めは、恒例行事となり、地域や家庭の協力も多く、今年度も目標の100kgに届く。今後も、児童への呼びかけを行い協力を促していきたい。

【課題】

- 環境美化支援コミュニティの方々との連携をし、地域への環境美化の取組を行えなかった。
- 持ち物への記名が毎学期の反省に上がり、呼びかけを行ったが、あまり成果が見られなかった。職員への啓発や共通理解を行い、クラスでの取組を揃える。
- 水道使用量については、漏水のため、実質分は不明だが、児童や職員の水の節約への意識の強化を図り、来年度は、目標値を達成したい。